

科名 泌尿器
 対象疾患名 胚細胞腫瘍
 プロトコール名 BEP療法

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	…	9	…	16	…	21
1	点滴注	メイン	ソルアセトF	500mL	80mL/hキープ	↓	↓	↓	↓	↓		↓		↓		
2	点滴注	側管	パロノセトロンバック アロカリス デキササート	0.75mg 235mg 9.9mg	30分かけて	↓										
3	点滴注	側管	デキササート 生食	3.3mg 50mL	30分かけて		↓									
4	点滴注	側管	デキササート 生食	6.6mg 50mL	30分かけて			↓	↓							
5	点滴注	側管	ブレオ 生食	30mg/body 100mL	30分かけて		↓					↓		↓		
6	点滴注	側管	エトポシド 生食	100mg/m ² 500mL	1時間かけて	↓	↓	↓	↓	↓						
7	点滴注	側管	シスプラチン 生食	20mg/m ² 500mL	3時間かけて	↓	↓	↓	↓	↓						
8	点滴注	側管	ラシックス	20mg	シスプラチン投与後	↓	↓	↓	↓	↓						
9	点滴注	メイン	ソルアセトF	500mL	80mL/hキープ	↓	↓	↓	↓	↓		↓		↓		
10	点滴注	メイン	ソルアセトF	500mL	80mL/hキープ	↓	↓	↓	↓	↓						
11	点滴注	メイン	ソルアセトF	500mL	80mL/hキープ	↓	↓	↓	↓	↓						

★1クール=21日

～MEMO～

day1-5催吐レベル4(90%以上)、day9,16催吐レベル1(10%未満)

- ・ 投与スケジュールを守れるようにG-CSFにてコントロールする。
- ・ 間質性肺炎に注意し、毎クール C-Xp、BGAチェックを行なう。
- ・ ブレオ投与後には発熱する。(アセトアミノフェンなどの処方考慮する。)
- ・ ブレオの総投与量は360mg以下とする。